

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 4 区分
 【発行日】平成 17 年 5 月 26 日 (2005.5.26)

【公開番号】特開 2003-51137 (P2003-51137A)
 【公開日】平成 15 年 2 月 21 日 (2003.2.21)
 【出願番号】特願 2001-238686 (P2001-238686)
 【国際特許分類第 7 版】

G 1 1 B 7/24

【F I】

G 1 1 B 7/24 5 2 2 P

G 1 1 B 7/24 5 2 2 A

G 1 1 B 7/24 5 3 3 A

G 1 1 B 7/24 5 3 3 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 16 年 7 月 23 日 (2004.7.23)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

基板と、

前記基板の、光入射側とは反対側に設けられた n 層 (n は 2 以上の整数) の、情報を記録する記録膜とを有する情報記録媒体であって、

光が j 層目 (j は 2 以上 n 以下の i 以外の整数) の記録膜に集光されている場合に、前記記録媒体の、光入射側から見て第 i 層目の透過率 T_i (i は 1 以上 $n-1$ 以下の整数) は、

【式 4】

$$\prod_{i=1}^{j-1} T_i^2 \geq \frac{n-j+1}{n} \quad (\text{式 4})$$

を満たし、かつ前記第 i 層目の透過率は、前記第 i 層目の記録膜に光が集光した場合には変化することを特徴とする情報記録媒体。

【請求項 2】

基板と、

前記基板の、光入射側とは反対側に、 n 層の記録膜が設けられ、

第 i 層の透過率 T_i は、第 i 層目の記録膜に光が集光しない場合に、

【式 6】

$$T_i \geq \sqrt{\frac{n-i}{n-i+1}} \quad (\text{式6})$$

を満たし、かつ、前記第 i 層目の記録膜に光が集光する場合に、透過率が50%以下になることを特徴とする情報記録媒体。

【請求項3】

前記媒体に、光の集光によって透過率が変化する非線形光学層が形成されていることを特徴とする請求項1または2記載の情報記録媒体。

【請求項4】

前記非線形光学層の、前記集光によって変化した透過率が、前記媒体が1周回転する間に元に戻ることを特徴とする請求項3記載の情報記録媒体。

【請求項5】

光入射側から、基板と、第1の記録膜と、第2の記録膜とを有し、

前記第1の記録膜と前記第2の記録膜との間に、光が集光されているときは反射率が透過率よりも大きく、かつ光が集光されていないときは透過率が反射率よりも大きい非線形膜を備えたことを特徴とする光情報記録媒体。

【請求項6】

基板と、第1の記録層を含む複数の記録層とを有し、

前記第1の記録層の透過率は、

前記第1の記録層よりも前記光入射側から遠い第2の記録層に光が集光されているときは、前記第2記録層を再生できる透過率であり、

前記第1の記録層に前記光が集光されているときは、前記第1の記録層を再生できる透過率となるように、変化することを特徴とする光情報記録媒体。